

日本学術会議 課題別委員会
自然災害軽減のための国際協力の在り方検討委員会
技術協力・被災地支援分科会（第5回）
議事要旨

1. 日 時 平成22年9月29日（水） 9：30－11：00

2. 場 所 日本学術会議 6-C（2）会議室

3. 出席者 （委員）和田，福和，小松，千木良 （小委員会委員）五道，藤原

欠席者 （委員）今村，入倉，川島，田村 （小委員会委員）鈴木

4. 議 題

- 1) 前回議事要旨（案）
- 2) 技術協力・被災地支援への取り組みに関する暫定とりまとめと議論
- 3) その他

5. 配布資料

3－1 前回議事要旨（案）

3－2 技術協力・被災地支援分科会 報告書目次（案）（和田委員長）

3－3 研修員受け入れ事業について（藤原委員）

6. 議事概要

1) 議事要旨を確認した

2) 資料3－3に基づいて、当分科会としての報告書目次について議論した

目次についての議論の結果は、後掲の目次（案2）に反映させたが、それ以外に出された意見として次のようなものがあった。これらは、課題別委員会への意見とも言える。

- FEEMAのような組織が必要。
 - 現状では、活動が様々な組織に分散しており、それらの間におちてしまう事柄もあるだろう。
 - 自治体の担当者の研修もできる。
- 防災の技術を輸出することも検討すべき
- 防災に文化的要素も入ると良い
 - 自然遺産
 - 文化遺産
 - ジオパーク
- 温暖化対応の防災もあると良い

3) 今後の予定

- ① 幹事から委員に、10月1日（金）までに目次案2を送るので、その修正意見を、来週中（10月8日（金）まで）に幹事に返送していただく。
- ② それを受けて、幹事が目次案を修正し、10月13日（水）までに委員に修正目次を送る。
- ③ その目次項目の下に、キーワード、あるいは短文をつけて幹事に返送していただく。
- ④ その後に分科会を開いて執筆者を決めて執筆にとりかかる。
- ⑤ 報告書は3－4ページの仕上がりになるが、最初はあまり分量を気にしないで行おう。

次回分科会は11月9日（火）1：00－3：00

10月15日（金）の課題別委員会には小松委員が報告することになった。

以上